

対馬市視察を受け、福岡県議会で質問を行いました！

福岡県議会において『本県の特定外来生物対策について』、『福岡県の文化財保護について』を質問すべく、2015年10月19日・20日の両日、対馬市を視察しました。

特定外来生物対策については、「ツマアカスズメバチ」駆除の最前線で任務にあたられている「対馬市自然共生課」の課長・係長に現地を案内して頂き、詳しく話を聞かせて頂きました。そして、昆虫学者・境先生からも「ツマアカスズメバチ」の生態について話を伺い、標本も頂きました。

そして、文化財保護対策については、「対馬市教育委員会文化財課」から対馬市の文化財保護の取組について話を伺うことができ、改めて、文化財保護対策の重要性を確認しました。

1. 福岡県議会「決算特別委員会」：『ツマアカスズメバチ対策について』

[原中質問] (2015年10/28 「環境部」への質問)

- ①本県として、「ツマアカスズメバチ」の脅威をどのように認識しているのか。
- ②これまで長崎県および対馬市と、どのような情報交換を行ってきたのか。
- ③福岡県内で生息が確認されて以降、どのような対策を講じてきたのか。併せて、県庁内の連絡・連携体制はどうなっているのか。
- ④北部九州・山口各県など近隣県との連絡調整、連携について、今後、具体的にどうするのか
- ⑤年明けの3月から4月、女王蜂捕獲のトラップを仕掛けることに関する環境省への働きかけも含め、本県としてどのような対策を講じるのか。

<福岡県環境部答弁>

- ①「ツマアカスズメバチ」については、生態系、人、農林業への影響が懸念される。
- ②本県では、対馬の生態、定着状況や対策などについて、長崎県と国、具体的には環境省の双方から積極的に聞き取りなどを行い、情報交換を行っている。
- ③国の「外来種被害防止行動計画」に基づき、生息確認と生息確認段階で発見された固体や巣の駆除を行っている。新たに発見された場合、環境省において駆除することとされている。
- ④県として「対策会議」を設置し、情報交換などを行うなど、庁内の連携を図っている。
- ⑤春先にトラップを設置し、早期発見し、発見された固体や巣を確実に駆除していく。近隣県との連携会議などを通じて、国の取り組みが確実に実施されるよう働きかける。

[原中質問] (10/29 「農林水産部」への質問)

- ①「ツマアカスズメバチ」に対する部の認識は。併せて、養蜂業や農産物に与える影響は。
- ②本県の、主な果樹品目にはどのようなものがあり、受粉、収穫の影響は。
- ③農林水産部として、長崎県および対馬市との情報交換、意見交換は。また、駆除の現場視察のため、対馬市へ職員を派遣したことはあるか。
- ④県内で生息が確認された、部としてどのような危機感を持って施策を講じるのか。
- ⑤果樹農家、野菜農家の方々への情報提供、警告、対策に向けた啓発など対策は。
- ⑥農林水産部として今後、九州・山口各県との連携は。

<福岡県農林水産部答弁>

- ①「ツマアカスズメバチ」の定着は養蜂業、果樹や野菜に対して影響が出ると考える。
- ②栽培面積が大きいものから、柿、温州ミカン、ブドウ、ナシ、キウイフルーツ、いちじく、